

<学校教育目標>

歴史を刻む時計塔 レンガの校舎に弾む声 共に学び 共に生きる江小の子
やさしく 思いやりのある子 すすんで 学ぶ子
さいごまで やりぬく子 明るく たくましい子

<今年度の重点>

あいさついっぱい えがおいっぱい 夢いっぴいの江小っ子



春…

校長 平田 弘子

2月も末となりました。年が明けてからあっという間の2ヶ月間でした。先日、野幌公民館で行われた『ふれあい作品展』を見に行った帰りのこと。駐車場に雪どけの水たまりができていました。「ああ、春…」と思ったとたん、たくさんの小鳥がその水たまりに群がってやってきたのです。その水をついばんだり、水浴びをしたりしている姿に、一瞬、春を感じました。そして、江小の校庭にやってくる数多くの鳥たちを思いました。朝夕はまだまだ寒いのですが、季節は確実に動いているのだなあと思いました。

春は、出会いと別れの季節です。6年生は中学校へと旅立ち、1～5年生は、新しい学年へと進級します。北国の私たちにとって、少しずつ暖くなるにつれ、本来、気持ちほうきうきするはずなのですが、別れのときを思うと切なくもなります。

今、学校では卒業に向けての様々な準備が進められています。体育館のステージ上に置かれたバック絵を見たり、廊下に響く歌声を聞いたりすると、いよいよ卒業か、と否応なく考えさせられてしまいます。今更ながら、一人一人の子どもたちの成長が愛おしく思われます。今年度は、6年生34名が、3月19日(水)に、この江別小学校を卒業します。また、25日(火)には修了式が行われます。限られた日々ではありますが、毎日の学習や生活で起こる出来事の一つ一つを大切に、卒業・進級に向けてしっかりと準備を進めていきたいと思っています。ご家庭でも、子どもたちに声掛けをよろしく願います。

さて、先日、江別小学校を語る会並びに学校評議員会(学校評価委員会)を開催いたしました。学校関係者の方々にお集まりいただき、本校の教育活動について、いろいろとご意見をいただきました。保護者や地域の皆様にいろいろな面で、お世話になっていることを改めて実感いたしました。心より感謝いたします。教職員一同、力を合わせて、教育活動に取り組んでいきますので、今後とも、ご理解とご支援をよろしく願います。

次年度の前期児童会役員が決定

2月13日(木)、次年度へ向けた児童会役員選挙が行われ、新たな児童会の役員が信任されました。21日(金)の認証式では、旧役員の退任の挨拶の後、新役員が全校児童の前で、力強い抱負を述べました。江小の素晴らしい伝統を引継ぎながらも新しい児童会を目指して力を発揮してほしいと思います。



会長	(5年)	書記	(5年)
副会長	(5年)		(4年)
	(4年)		(3年)

スキー学習の様子



1月31日、2月5日の2回、3年～6年生は、岩見沢萩の山市民スキー場へスキー学習に行ってきました。2回目の授業では、天候にも恵まれ、リフトに乗る回数が13回を超える等、思う存分滑ることができました。

登下校にかかわってのお願い

登下校に関わって学校でも見守りや安全面での指導を行っておりますが、ご家庭でも以下の点で子ども達を見守って頂く等、ご配慮いただくと助かります。

- ◎通勤や外出の際、登下校と重なる場合
- ◎ゴミ出しや除雪、犬の散歩などで登下校と重なる場合

3月の行事予定

- 3日(月) 参観日(1～3年・はぎのこ) 交通安全の日(登校)
- 4日(火) 参観日(4～6年) 6年卒業を祝う会
- 6日(木) PTA運営委員会④
- 7日(金) 卒業生を送る会 心の相談員来校 1・3・4・5年弁当の日
- 11日(火) 交通安全の日(下校) 心の相談員来校
- 14日(金) 卒業式全体練習
- 17日(月) 卒業式全体練習
- 18日(火) 卒業式準備 <特別5時間授業> 資源回収
- 19日(水) 第115回卒業証書授与式 児童登校8:45 授与式9:30
- 21日(金) 春分の日
- 24日(月) PTA会計監査
- 25日(火) 修了式・離任式 <給食なし:特別4時間>
- 26日(水) 学年末(始)休業開始(～4月5日)



春はそこまで

<<3月から児童の外出時刻は17:00までです>>

3月の生活目標
1年間をふりかえり、
教室や学校をきれいにしよう

前号に掲載した保護者アンケート結果も参考にしながら、職員による今年度の学校評価(自己評価)を行いました。その結果を、改善策も含めて学校関係者評価委員の皆さんに評価していただき、ご意見をいただきました。《裏面参照》
これらを生かして次年度の計画づくりに取り組んでいます。

様式 1

平成 2 5 年度 自己評価及び学校関係者評価書

平成 2 6 年 2 月 2 8 日
江別市立江別小学校

1 本年度の重点目標

「基礎・基本を身につけ、心身ともに健康で人間性豊かな子どもの育成」

2 自己評価に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	地域や保護者の願いを基底にした開かれた学校づくりが推進されたか。	A	情報発信の工夫とともに、外部講師や各種ボランティアの活用等、児童の実態に合わせてながら地域の教育資源の有効活用に取り組む。	A	A
	マネジメントサイクルを生かした教育活動が推進されたか。	B	年間計画に基づきながら、月ごとの重点目標の明確化と実施後の速やかな評価を行い、教育活動の改善を図る。	A	A
	教育のプロとしての教職員の資質能力の向上が図られたか。	B	授業研究に重点を置き、計画的な学校課題研究の取組みを進めると共に e-黒板等の ICT を積極的に活用し、指導技術の向上を図る。	A	A
教育課程・学習指導	基礎・基本の定着と学ぶ意欲を育てる教育活動が推進されたか。	B	基礎学力到達目標の見直しと指導実践、評価を適切に行い、確実な基礎学力の定着を図る。生活リズムのチェック表を活用した家庭学習支援を行う。	A	A
	児童の実態を明確にし、個に応じた指導の組織的な推進は適切であったか。	B	各種学力テストの他、子ども理解支援ツール等を活用し、より細やかな児童理解に努める。個々の実態を捉え、職員の共通理解のもとでの T T 指導や少人数指導の工夫・充実を図る。	A	A

	学習指導要領に基づいた適切な教育課程の編成、実施がなされたか。	B	学習指導要領の趣旨を生かし、特色ある学校づくりに向け、児童の実態等を踏まえた計画的な編成に取り組む。	A	A
生徒指導	いじめや登校しぶり等への、早期対応と支援体制の確立が図られたか。	A	定期的な全職員による児童交流により実態を把握し、必要に応じた対応とともに、児童会活動等の児童の主体的活動がなされるよう働きかける。	A	A
	「命の大切さ」や「善悪の判断」「礼儀」等、人としての基本を身につける心の教育が推進されたか。	B	道徳の時間の指導はもとより、すべての教育活動において児童の実態に応じた即時的な指導に取り組む。異学年交流や外部講師の積極的活用を通して、本校の伝統である「思いやりの心」を育てる。	A	A
	地域・家庭との連携した生徒指導は、適切に行われたか。	B	問題行動への組織的な対応を図るとともに、各種ボランティア団体等とも連携しながら児童の健全育成を目指す。	A	A
特別支援教育	子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育が推進されたか。	B	定期的な実態交流により共通理解を図るとともにコーディネーターを中心として関係機関と適切に連携した取り組みを行う。	A	A
	特別支援学級の教育環境を整備し、所属学年や学校全体との連携のもとで交流・共同学習が推進されたか。	B	児童の実態に合わせた交流・共同学習のために、組織的・計画的に取り組む。児童の変容を捉え、指導方法の改善と充実に取り組む。	A	A
健康・安全管理	児童の健康・安全管理能力向上のための取組が適切に行われたか。	B	児童の実態に基づいた保健指導とともに、体育科での指導を中心としながら、全教育活動での体づくりの工夫・充実を図る。	A	A

【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

◎一部の項目について、学校の評価が厳しい様に思いますが、改善の方策は良いと思います。

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない